



がん患者さん等やそのご家族のための「患者サロン」として院内に開設された『やすらぎサロン』も、今年で13年目を迎えました。「語らいの場」、「情報収集の場」、「くつろぎの場」として皆様にご利用頂いております。今後もたくさんの方にご利用頂けるよう、やすらぎサロンの活動を定期的にご紹介していきます。

ウィッグ・乳房補整具購入費用助成事業のご案内（名古屋市の方）

名古屋市では、平成31年から、がん患者の方の身体的・精神的な負担や社会生活上の不安を和らげるため、ウィッグの購入費用の助成事業を行っています。また、令和4年4月から、乳房補整具購入費用の助成事業も開始しました。

対象者：①～④の全てに該当する方

- ①名古屋市内に住民票を有する方
- ②がんと診断された方で治療に伴う脱毛等の症状によりウィッグを必要とする方、または外科的治療等による乳房の変形により乳房補整具を必要とする方
- ③他の制度で、同様の助成等を受けることができない方
- ④過去に名古屋市、または愛知県内の市町村が実施する同様の助成等を受けていない方



助成対象品	助成額および上限額
ウィッグ（ウィッグ装着時に皮膚を保護するためのネットを含む） ※医療用に限らない。髪の毛付帽子も対象。	購入費用（税込み）の3割 上限 30,000円
乳房補整具：補整下着、補整パッド及び人工乳房 ※補整下着（パッドなし）のみの申請は不可。	購入費用（税込み）の3割 上限 20,000円 （人工乳房が含まれる場合は 40,000円）

乳房補整具は、令和4年4月1日以降に購入したものが対象となります。

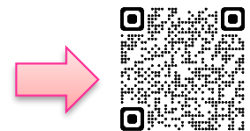
助成回数は1人につきウィッグ・乳房補整具それぞれ1回まで、申請期限は購入後1年以内となります。

くわしくは、右のQRコードから名古屋市公式ウェブサイトをご覧ください。

(<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000115089.html>)

交付申請書などのダウンロードも可能です。

また、愛知県内では、他の自治体でも同様の助成を受けられる可能性があります。くわしくは、お住いの自治体のホームページをご覧ください。当院のがん相談支援センターでもご案内しております。



確かながん情報のために

『がん情報サービス』をご利用ください

現在、情報の発信手段や発信内容が多様化する中で、がんの情報を正しく得ることはたやすくありません。がん対策情報センターが運営する「がん情報サービス」は、2006年からがん対策基本法に基づき「患者・家族・市民のためのがん情報を作り、届ける」ために、「確かな」「わかりやすい」「役にたつ」がん情報の提供を目指しています。がん体験者の方や有識者の方々のご意見をもとに、必要な情報を探しやすく、見やすいものになるように工夫されています。がんの種類別の情報のみでなく、生活上の悩みや世代別の悩みなどの情報も提供しています。

まずは「がん情報サービス」(<https://ganjoho.jp>)をご利用の上、患者さんやご家族にとって必要な情報を正しく知り、治療や療養生活にお役立てください。（右のQRコードからもご覧いただけます。）





～当院のがん患者さんをサポートするスタッフのご紹介～

がんに寄り添う栄養士を目指して 名古屋医療センター 栄養士 小野田 慎平



がんは、日本において死因の第1位となり、国立がん研究センターの発表によれば年間37万人以上ががんにより亡くなっています。しかし、全がんの5年の生存率は60%を超えていることから「がんは治る時代」ともいわれています。がん治療の柱は化学療法・放射線療法、外科治療の3つですが、治療中のがん患者さんの栄養状態を適切に保つことは、治療の支援、QOLの改善・維持をするためにも重要です。栄養療法は即効性が無い代わりに、正しく実行することができれば、副作用が無く、極めて安全な治療とも言えます。

そこで、平成26年度に「がん病態栄養専門管理栄養士 Certified Specialist of Registered Dietitian for Cancers (CSRDC)」の認定制度が開始されました。この認定資格は、がん患者さんの栄養管理・食事療法に関する高度な知識と技術を備え、がん治療専門の管理栄養士として、チーム医療への連携を強化することを目的として作られました。

がん病態栄養専門管理栄養士が対象にするのは、がん治療を受けられている方と、闘病を支えるご家族です。主な業務は入院中の栄養管理や栄養食事指導です。また、退院後の食事についても希望にあわせて説明し、患者さんとその家族をサポートします。がん患者さんは、治療の副作用や精神的ストレスなどから、食欲の低下や栄養状態の悪化を起こしやすいため、より重点的な栄養療法が必要になります。

当院でも「がん病態栄養専門管理栄養士」の資格を持つ栄養士が、がん患者さんに対しての栄養療法を積極的に行っています。がん患者さんの不安や疑問を可能な限り取り除きながら、食事療法の継続、ひいては治療の完遂を目指せるように、食事を通じてがん患者さんを支えています。



やすらぎレシピ

～管理栄養士より～



ふわふわはんぺんの豆腐茶碗蒸し



＜材料(蕎麦猪口4個分)＞
卵…1個
絹ごし豆腐…1/3丁(100g)
はんぺん…1/2枚
だし汁…180ml
薄口醤油…小さじ1
みりん…小さじ1/2
塩…ひとつまみ
かまぼこ…4切れ
三つ葉…適量

＜作り方＞

- ① かまぼこは5等分に切り、三つ葉は1～2cmの長さに切る。
- ② 豆腐はペースト状につぶし、はんぺんは粗めにつぶす。
- ③ ②に溶き卵、だし汁、調味料を加えて混ぜ、器に入れる。
- ④ ラップをふんわりとかけ、電子レンジ500Wで2分加熱、その後150Wで7～10分加熱する。
(器の大きさや機械によって加熱時間かわるため、様子を見ながら加熱してください)
- ⑤ かまぼこは5等分に切り、三つ葉は1～2cmの長さに切る。
- ⑥ ④の上に、かまぼこを花型にのせ、三つ葉を散らす。

＜ポイント＞火を使わずに、電子レンジで簡単調理！豆腐とはんぺんで、いつもの茶碗蒸しよりタンパク質量UP！
お好みで食材を入れたり、冷やしてから食べるのもおすすめです！

フルーツたっぷりヨーグルトパーク



＜材料(4人分)＞
プレーンヨーグルト
…1P(400g)
はちみつ…大さじ1
冷凍ミックスベリー…25g
キウイ…1個

＜作り方＞

- ① ボウルにザル、キッチンペーパーを重ね、ヨーグルトをのせる。ラップをかけて冷蔵庫で一晩おき、水切りをする。
- ② 水切りヨーグルトに、はちみつを入れ、よく混ぜる。
- ③ バットにクッキングシートを敷き、②を8mm程度の厚さにひろげる。
- ④ キウイは皮をむき、5mm幅のちょう切りにする。
- ⑤ ④の上に、キウイ、ミックスベリーをのせて、冷凍庫で冷やし固める。
- ⑥ 固まったら、包丁で食べやすい大きさに割り、お皿に盛りつける。

＜ポイント＞水切りヨーグルトでひんやりさっぱりとタンパク補給！元々水が切れている、ギリシャヨーグルトを購入すると時短になります！違うフルーツをのせたり、シリアルやナッツ類をまぜたり、アレンジしてみてください♪